



2021年9月期第1四半期

# 決算ハイライト

株式会社アンビスホールディングス

2021年2月10日

©Amvis Holdings, Inc.

## 21年9月期上半期 / 通期業績予想の上方修正

(第1四半期実績) 営業利益

**7.2億円**

(上半期予想) 営業利益

**12.3億円**

(当初予想対比：+3.9億円)

(通期予想) 営業利益

**26.1億円**

(当初予想対比：+3.1億円)

(第1四半期実績) 当期純利益

**5.5億円**

(上半期予想) 当期純利益

**9.0億円**

(当初予想対比：+2.7億円)

(通期予想) 当期純利益

**18.5億円**

(当初予想対比：+2.2億円)

- 新規開設の稼働率が好調であったことを踏まえ、第1四半期の業績は当初予想対比順調に推移
  - ✓ 売上高：31.6億円（当初予想対比進捗率22.6%）
  - ✓ 営業利益：7.2億円（当初予想対比進捗率31.2%）
  - ✓ 当期純利益：5.5億円（当初予想対比進捗率34.2%）
- 第1四半期の上振れ及び新規施設に係る開設費用を織り込み、21年9月期上半期 / 通期業績予想を上方修正
- 新型コロナが拡大する中、稼働率は順調に推移し、新型コロナ患者を受け入れる医療機関の疲弊軽減に寄与するなど、医療依存度の高い患者の受け皿として地域医療体制の維持に微力ながら貢献。また、新型コロナ対策として、看護師・介護士を中心とした増員体制は引き続き継続
  - ✓ 入居者数1,180人に対し、医療従事者を1,268人配置（20年12月末時点）
- 第1四半期の新規開設は、計画通り4施設の開設および1施設の増床を実施。また、5月に東京都本郷、7月に福島に新規開設することを決定し、21年9月期は当初計画を上回る計13施設の開設を計画
  - ✓ 東京都本郷は、従前より計画していた既存介護施設との共同運営の第1号モデル。詳細は後頁参照
  - ✓ 第4四半期の新規開設は福島1施設に限定し、21年9月期の新規開設は計13施設で打ち止め方針

注：

当期より控除対象外消費税等の会計処理に係る会計方針を変更したため、20年9月期の財務数値は当該会計方針の変更を遡及適用（後項同様）  
詳細は、21年9月期第1四半期決算短信添付資料「2.四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」を参照

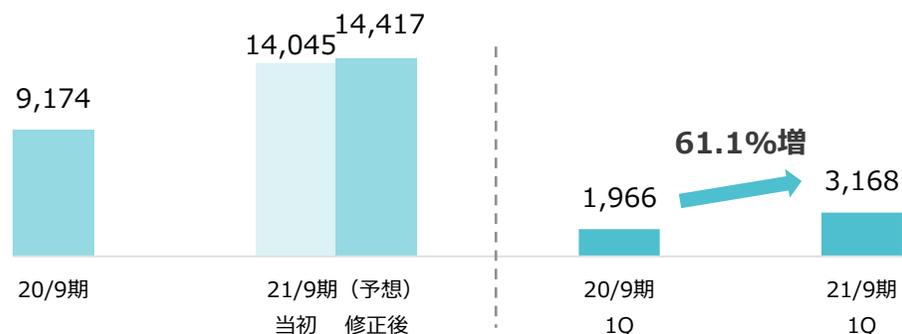
# 第1四半期実績及び通期予想に対する進捗

- 対前年同期末対比、施設数が22施設から33施設に11施設増加したことを踏まえ、売上高は大幅に増加
- 新型コロナが拡大する厳しい環境の中、医療機関との強固な信頼関係のもと、稼働率水準を維持。また、増員体制を継続しつつも、稼働率に合わせた人員管理の結果、確りと利益を確保

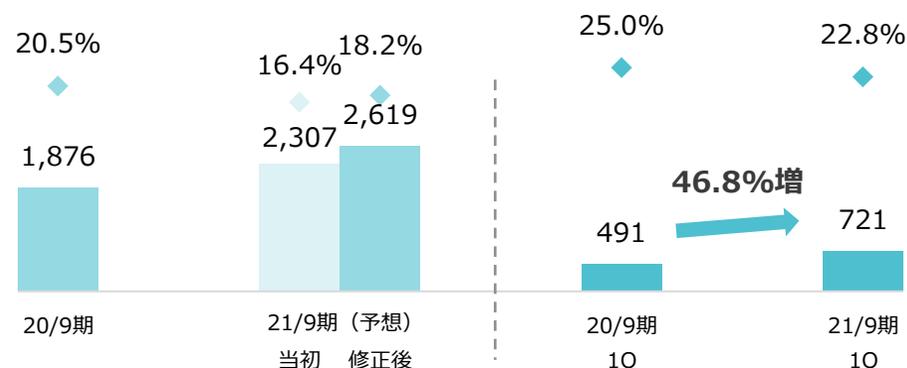
## 通期予想に対する進捗

### 売上高

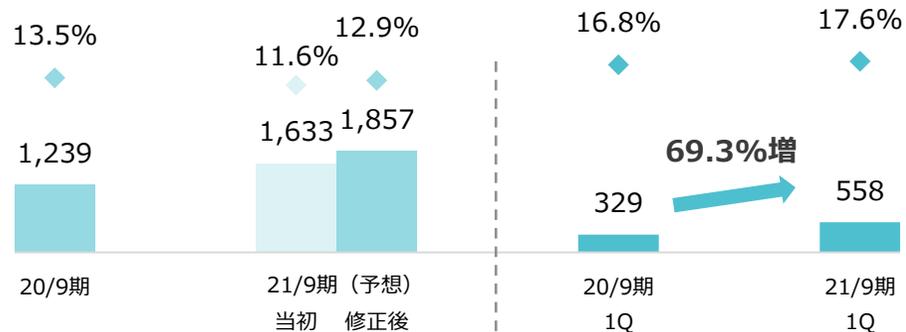
(百万円 / %)



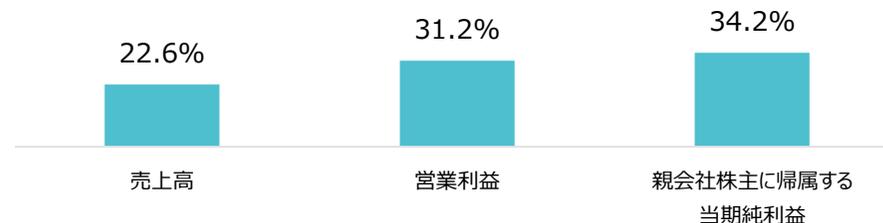
### 営業利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 通期当初予想対比進捗率



◆ : 売上高比

# 営業利益進捗率 – 当初予想 / 修正後予想ベース

- 新型コロナの影響を受けることなく、新規開設の稼働率が順調であったことから、進捗率は、当初予想の~15.0%を上回る31.2%で着地。よって、営業利益を23.0億円から26.1億円に上方修正を実施
- 下半期に計2施設の新規開設を追加決定したものの、当該2施設は今期黒字貢献しない想定

## 営業利益進捗率 (21年9月期)

(百万円)

3,000

2,500

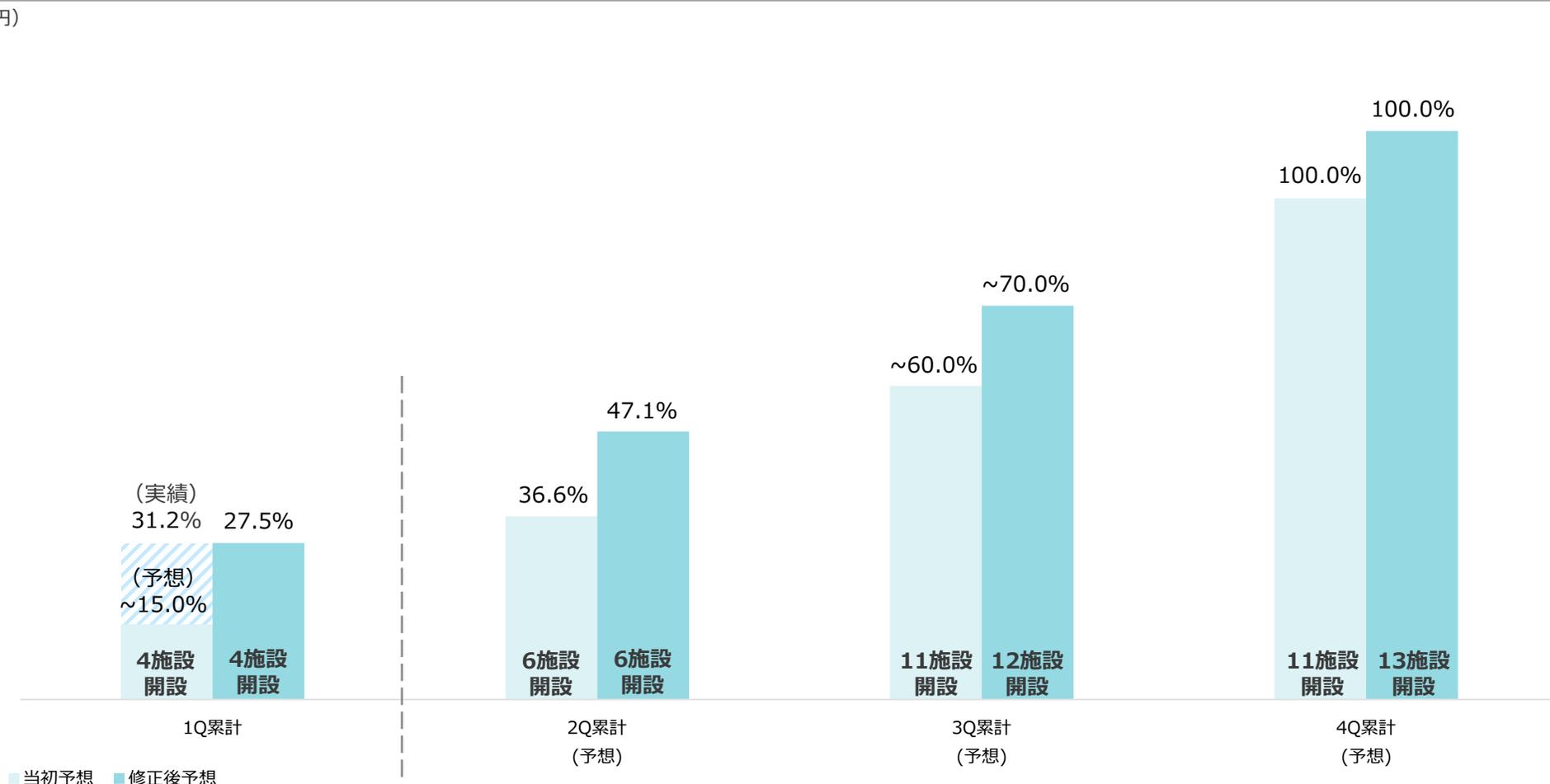
2,000

1,500

1,000

500

0



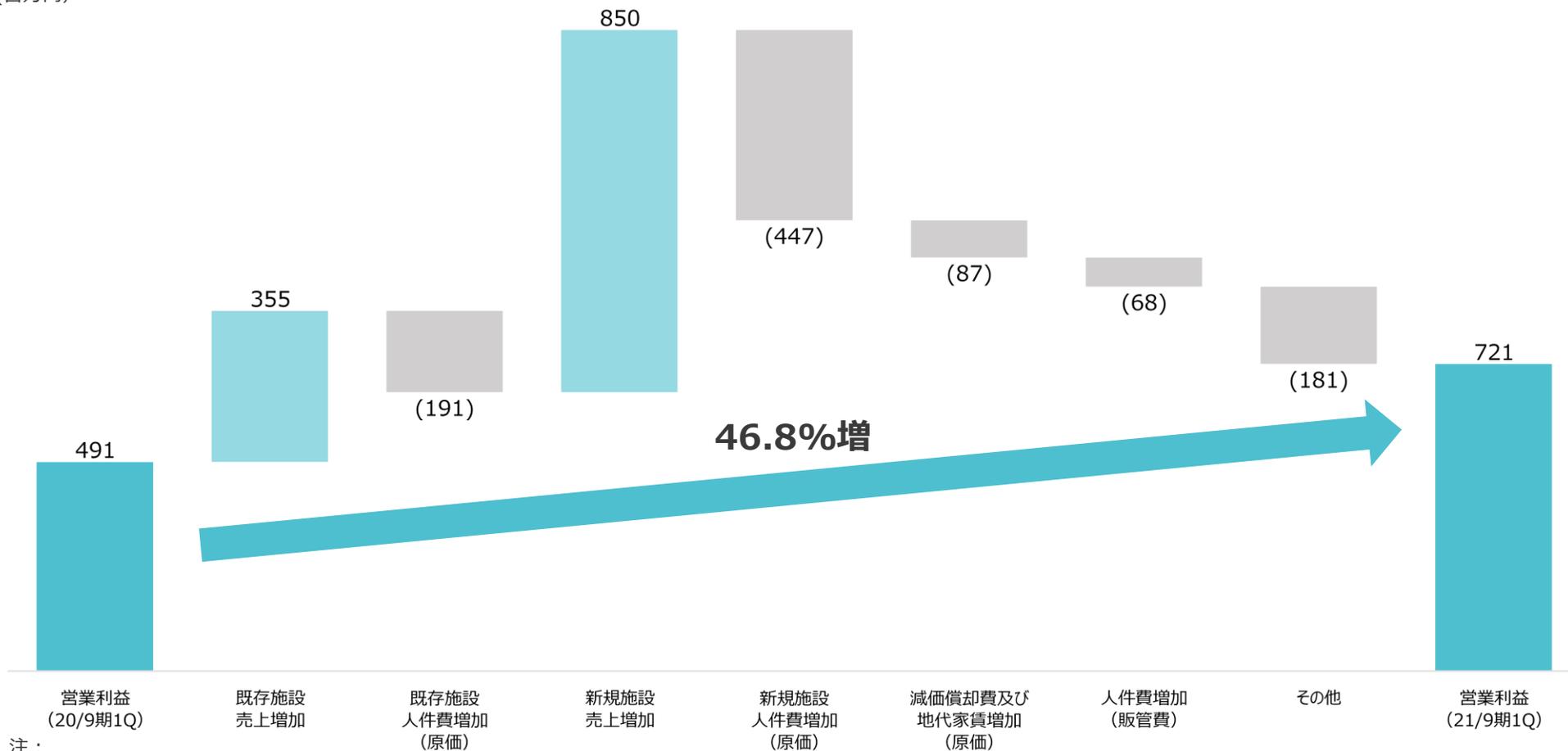
■ 当初予想 ■ 修正後予想

# 第1四半期業績 – 営業利益推移

- 既存施設の稼働率（80～85%）、新規施設の稼働率（55%～60%）<sup>(1)</sup>は順調に推移
- 特に、20年9月期第4四半期に開設した3施設（川越、上大岡、湘南台）及び21年9月期第1四半期に開設した4施設（長野、流山、経堂、小田原）の立ち上がりが好調

## 営業利益推移（20年9月期1Q – 21年9月期1Q）

(百万円)



注：  
1. 新規施設：20年1月（20/9期2Q）以降開設（後頁同様） / 稼働率：中央値（12月末時点）

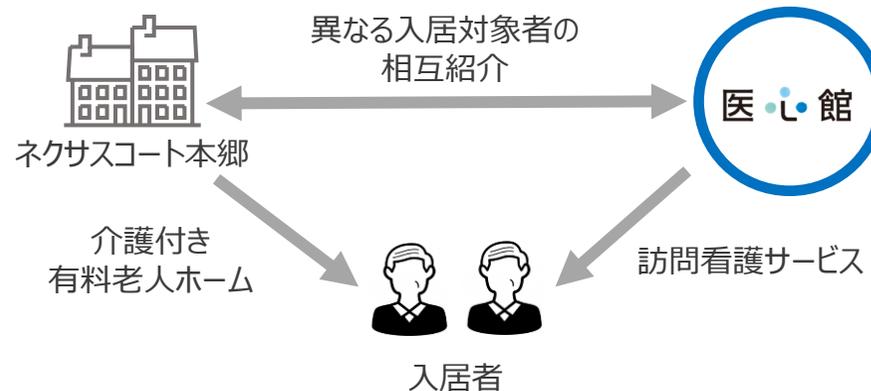
# 他の介護事業者との連携による新スキームでの医心館開設

- 明日の医療における医療機関・介護施設との連携の第一歩（訪問看護事業 / 入居者の相互紹介）
- 新型コロナ禍においても、引き続き医療機関・介護施設との連携を強化していく方針

## 概要

- 21年1月19日、株式会社ネクサスケアとの連携により、新スキームでの医心館開設の決定を公表
- ネクサスケアが運営する介護付き有料老人ホーム「ネクサスコート本郷」の地上9階の建物のうち3・4・5階に段階的に医心館を開設
- ネクサスケアと当社が運営するフロアでは、入居対象者が異なるため、同一建物内での入居者紹介制度を導入

## スキーム図（医心館フロア）



## 戦略的意義



- 既存介護施設との連携による医心館の展開余地拡大
- 入居者紹介事業の開始

ネクサスコート  
本郷

- 医療依存度が高い方を含めた入居対象者・サービス幅の拡大
- 入居者の相互紹介による稼働率向上

## タイムライン

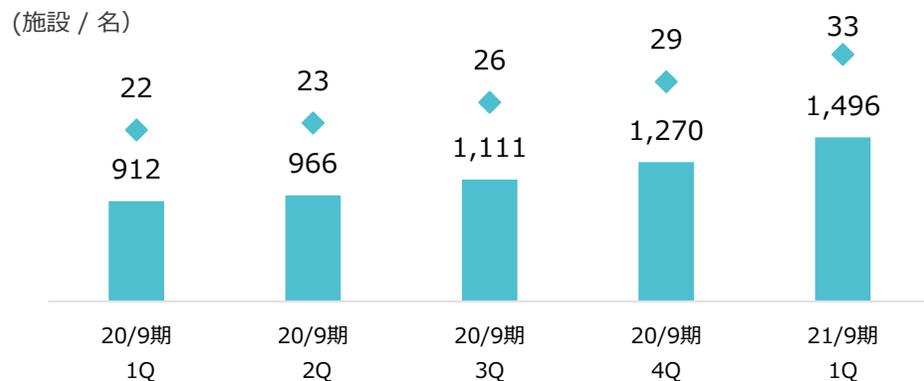
- 21年1月：株式会社ネクサスケアとの提携を公表
- 21年5月：3・4階のみ営業開始（計28名）
- 21年10月目途：5階の営業開始（計42名）

# 四半期業績推移 – 主要財務指標

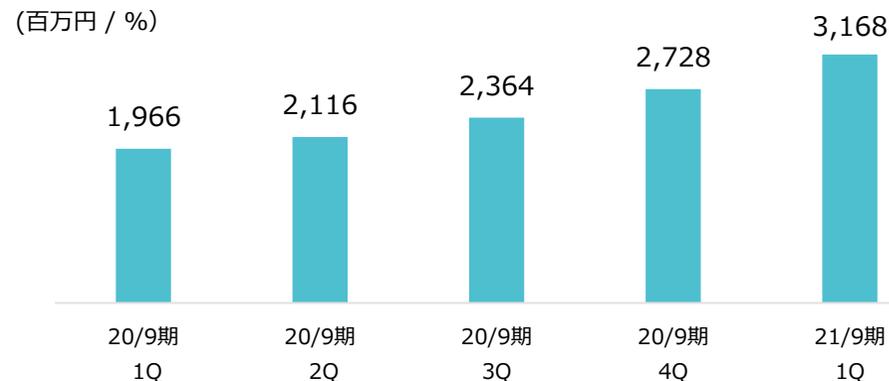
- 施設数・定員数の増加に伴い売上高は順調に推移し、直近半年で開設した7施設が安定稼働に至っていない中、利益は大幅に増加
- 営業利益率は、新型コロナ拡大前の水準には届かないものの、20年9月期第4四半期以降改善傾向にあり

## 直近1年間四半期業績推移

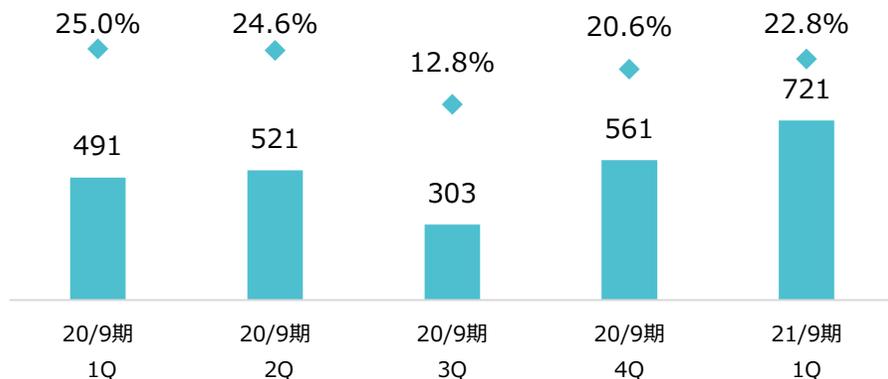
### 施設数 / 定員数



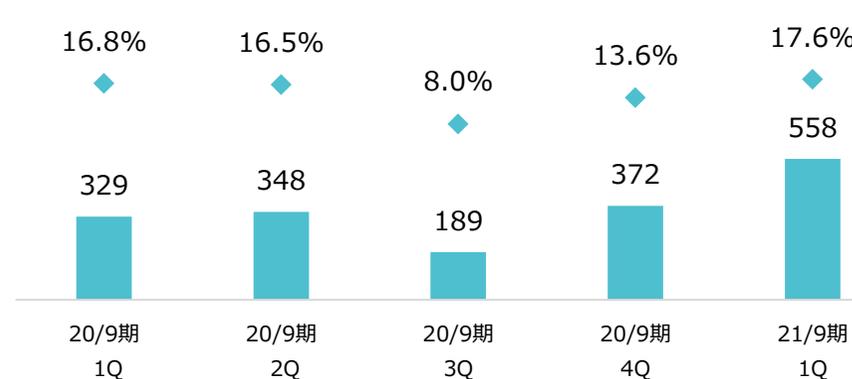
### 売上高



### 営業利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



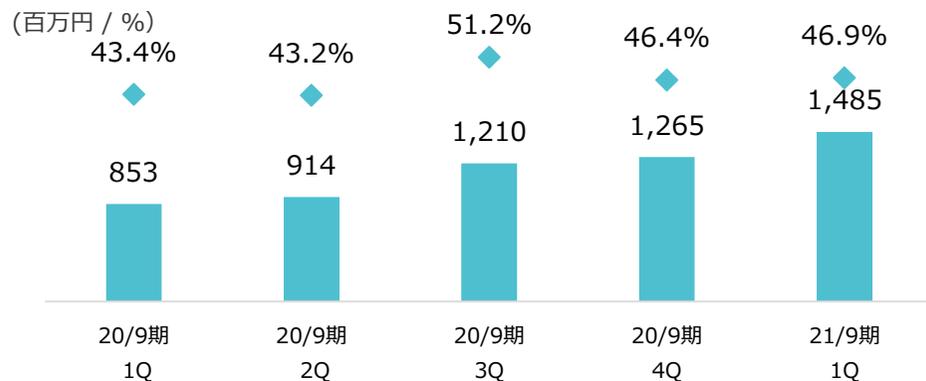
◆ : 売上高比

# 四半期業績推移 – 主要売上原価 / 販管費

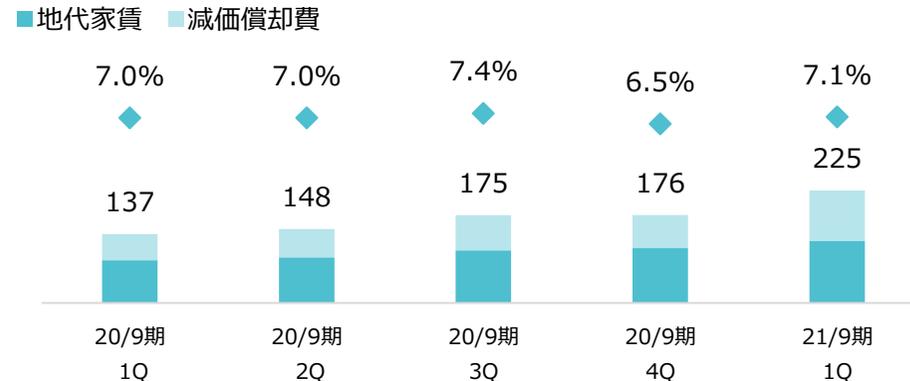
- 看護師・介護士に関する人件費率（売上原価）は40%台後半の水準を維持
- 人件費・採用費は、施設数増加に伴い引き続き増加する見込み

## 直近1年間四半期業績推移

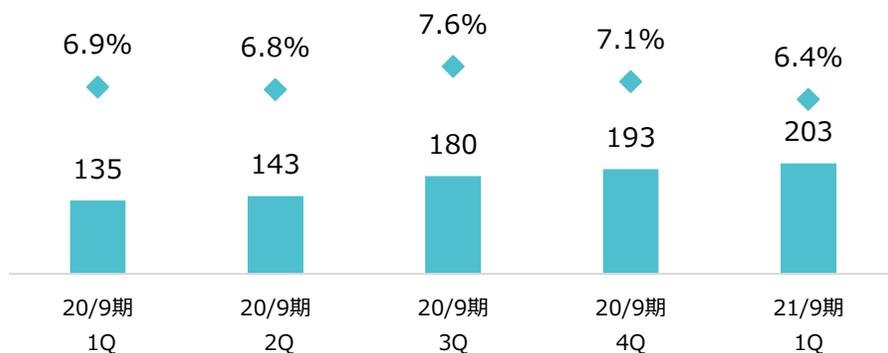
### 人件費（売上原価）



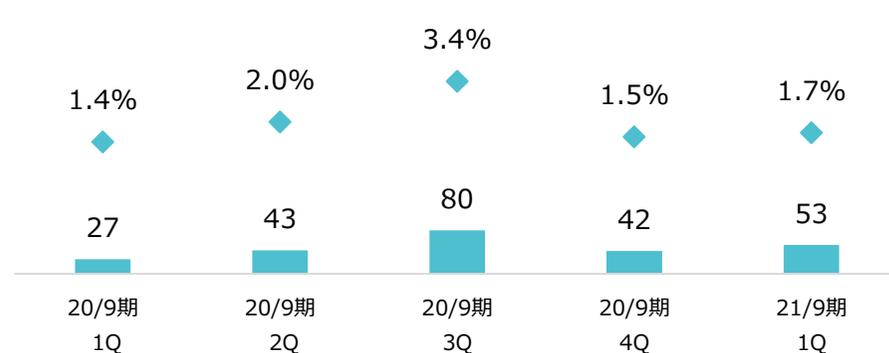
### 地代家賃及び減価償却費（売上原価）



### 人件費（販管費）



### 採用費（販管費）



◆ : 売上高比

- 第1四半期で4施設を開設したこと及び21年9月期中に残り9施設を開設見込みであることを踏まえ、建物、借入金を中心に各残高が増加
- 自己資本比率は減少したものの、当社の目安である30%をやや上回る水準

## 財政状態概要

(百万円 / %)	19/9末	20/9末	20/12末	対20/9末増減
<b>資産</b>	6,997	16,519	18,211	+10.2%
現金及び預金	452	3,335	3,198	(4.1%)
建物及び構築物 (純額)	753	3,548	5,164	+45.5%
<b>負債</b>	5,926	11,264	12,533	+11.3%
借入金	2,080	6,250	7,750	+24.0%
リース債務	2,970	3,299	3,280	(0.6%)
<b>純資産</b>	1,070	5,255	5,678	+8.0%
<b>自己資本比率</b>	15.3%	31.8%	31.2%	(0.6pt)

- 21年9月期の開設は6月までに集中させ、7月から9月にかけては基本的に運営体制の強化充実に注力する方針は継続
- 今後は定員数が50名程度の施設の割合を増やす方針

## 今後の開設計画

開設予定 (21年1月以降)	医心館	定員数
21年2月上旬	医心館 四日市Ⅱ	47名
21年2月上旬	医心館 秋田	54名
21年4月上旬	医心館 本厚木	56名
21年4月上旬	医心館 山形Ⅱ	47名
21年4月下旬	医心館 金沢文庫	80名
21年5月上旬	医心館 本郷（共同運営）	42名 <sup>(1)</sup>
21年5月上旬	医心館 蘇我	52名
21年5月上旬	医心館 浜松	51名
21年7月上旬	医心館 福島	52名



注：

1. 開設後半年は28名定員で運営予定



## 參考資料

---

## Amvis 2023目標

### 定員数

**2,892人**  
(中長期目標：5,000人)

20年9月末：1,270人

### 売上高

**244億円**  
(中長期目標：450億円)

20年9月期：91億円

### 営業利益

**51億円**  
(中長期目標：100億円)

20年9月期：18億円

### 当期純利益 年平均成長率

**30%台後半**  
(中長期目標：20%台)

17年9月期－20年9月期：100%超

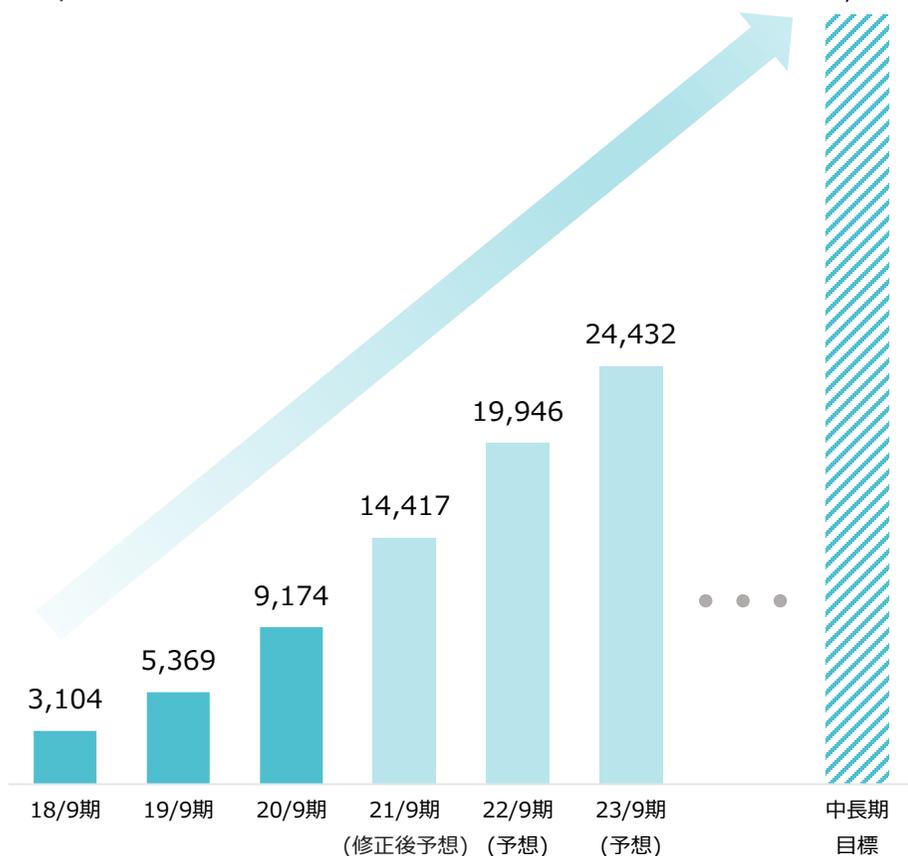
# 主要財務指標の推移 – 成長率 / 利益率

- 売上高 / 営業利益は、過年度同様、順調に推移し、23年9月期まで高成長を維持・加速予定
- 新型コロナ禍においても、中長期目標について早期に実現するべく、運営体制の強化充実に注力

## 売上高の推移

(百万円)

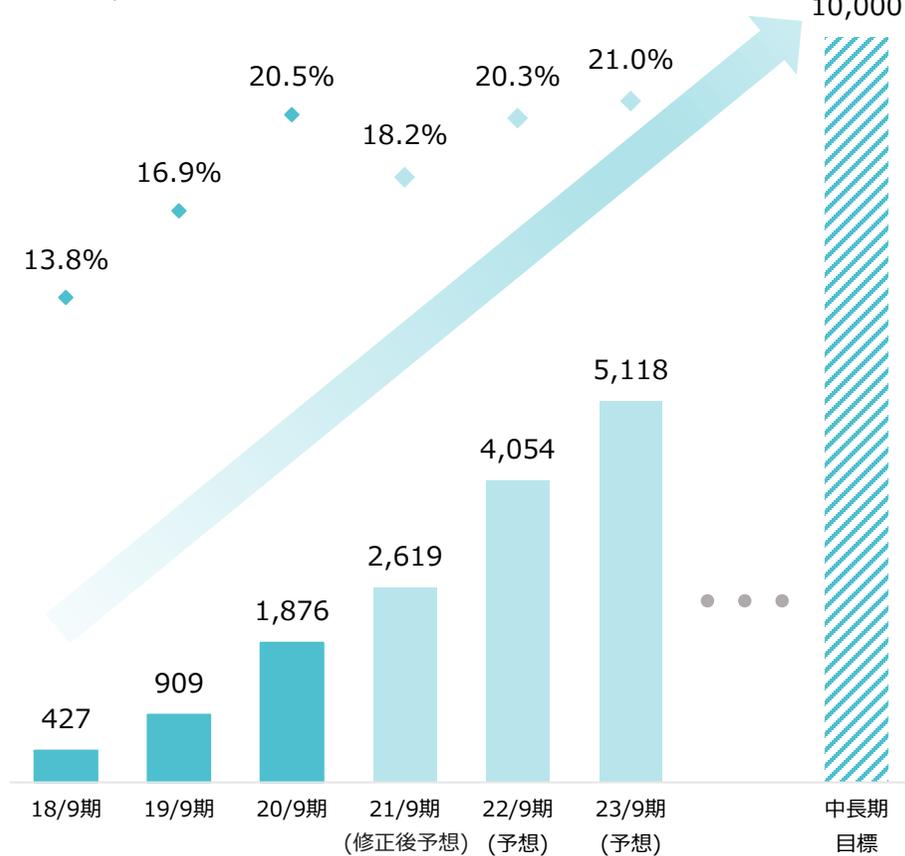
45,000



## 営業利益 / 営業利益率の推移

(百万円 / %)

10,000



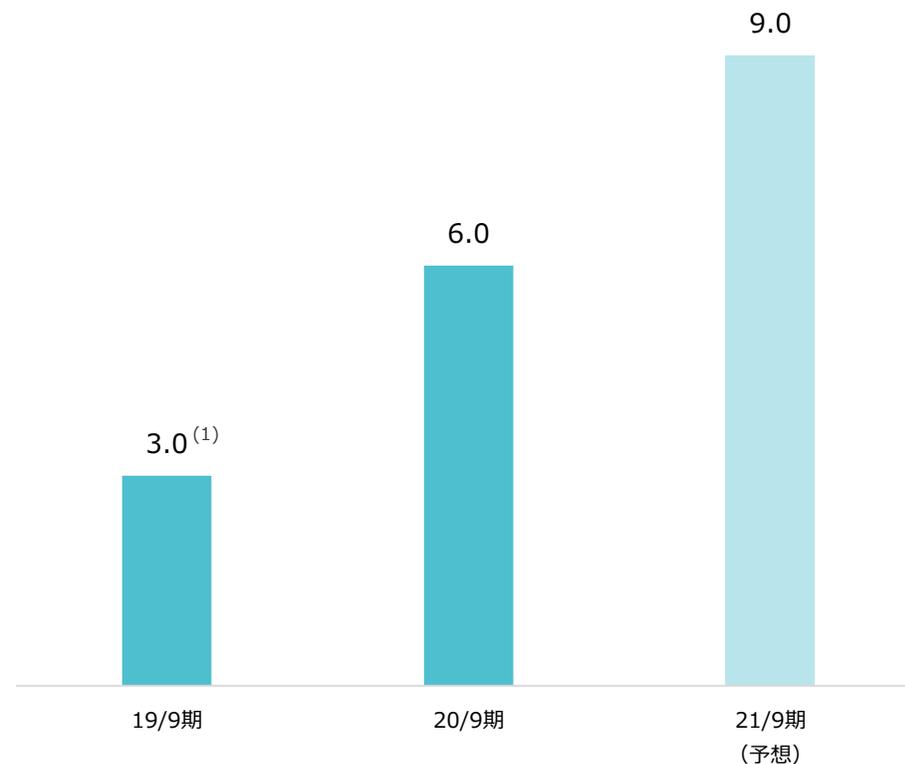
- 21年9月期の1株当たり配当金は前年度対比3円増配の9円を予想
- 引き続き成長の加速化と株主還元のバランスを考慮し、企業価値の向上を企図

## 株主還元基本方針

- 株主に対する利益配分を重要な経営課題として捉え、医心館事業及びその周辺領域への事業展開と経営基盤の強化を図るための内部留保資金を確保しつつ、株主還元を実施し、企業価値の向上を企図
  - 株主配当：安定的な株主配当を基本とし、市場環境、規制動向、財務健全性等、総合的に勘案し、年1回の期末配当を実施

## 1株当たり配当金の推移

(円)



注：

1. 20年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っているため、分割を考慮しない場合の配当金は6.0円

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、当該記述のために、一定の前提を使用しています。当該記述または前提は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ございますが、詳細は、当社の決算短信、有価証券報告書をご参照下さい。なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

## 【お問い合わせ先】

株式会社アンビスホールディングス IR課

電話：03-6262-5085 / Email：ir\_contact@amvis.co.jp